



一橋大学

ジェンダー教育
プログラム

GenEP

新学期を迎えて、どんな授業を取ろうか履修計画をたてながら心躍らせていることでしょう。ここではみなさんの授業選びの参考に、2007年度から一橋大学で始まったジェンダー教育プログラムのカリキュラムをご紹介します。

GenEPとは？

(Gender Education Programの略)

私たちの大学では、2005年度より「一橋大学における男女共同参画社会実現に向けた全学的教育プログラムの策定」(GenEP)プロジェクトが始まりました。これは、社会学部の教員が全学の教員と連携しながら、男女共同参画社会実現に向けた本学ならではのジェンダー教育プログラムの策定を目指した活動です。このGenEPプロジェクトの2年間の活動をへて、2007年度から新しいジェンダー教育のプログラムが始まりました。共学の大学として男子学生・女子学生が肩を並べて男女共同参画社会に向かう時代のトレンドを学び、相互の課題を受けとめあうことはとても大事なことです。昨年度は学部・大学院の科目をあわせて53科目が提供され、3417名の学部生・大学院生が受講しました。将来さまざまな分野で活躍するであろうみなさんが、全学共通教育から学部・大学院科目まで体系的に組まれたこのジェンダー教育プログラムに積極的に参加されることを期待します。

ジェンダー社会科学研究センター内GenEP部門

マーキュリータワー 6階 3617

<http://www.gender.soc.hit-u.ac.jp/>

GenEPはジェンダー理論の学習を支援します。みなさんが男女共同参画社会の実現をめぐる問題に気づき、解決に必要な知識、能力、手法を身につけるためのカリキュラムを提供します。GenEPの道案内を頼りに、自らの関心をおおいに生かして、それぞれ自分のジェンダー教育プログラムを組み立て、授業を履修してください。

目指す
ゴールは…

- ジェンダーや男女共同参画にかかわる基礎的知識を身につけ、その理念と方法を体系的に修得する
- さまざまな専門領域にジェンダーの視点を積極的に導入し、市民社会を解明する視座を構築する

基幹
科目群

ジェンダーを授業の主軸とする科目群。導入的科目から発展的科目へという積み上げ式の履修です。ジェンダーや男女共同参画にかかわる基礎的素養を身につけることを第一の目標にしています。さらに発展レベルでは独創的かつ先端的な研究の基礎となる理論や方法、当該研究分野に関する包括的な知見の修得をめざします。

連携
科目群

ジェンダーがとりあげられる学際的な科目群。基幹科目群、および全学的な教育活動と連携しています。既存の社会科学・人文科学の枠組み・体系をジェンダーの視点から問い直していきます。

履修のツボ



緩やかなスロープ？連携？

積み上げ式の基幹科目群と学際的な連携科目群の二つの科目群を相補的に履修することができます。全学共通教育、学部教育から大学院修士・博士後期課程の教育にいたるまで、緩やかなスロープを上るように学んでいけるカリキュラムがつけられています。



キャリアデザイン？

ジェンダーや男女共同参画についての素養は、自分自身の価値を高め、将来像を思い描くことを助け、みなさんが市民社会や企業において構想力を発揮していくための力となるはずで。



労働・経営・ジェンダー？

2005年に行われた「一橋大学における男女共同参画に関する学生の意識・実態調査」で多くの学生から受講希望のあった「労働とジェンダー」、「経営とジェンダー」をテーマとした講義が新設されています。ジェンダーをより身近にとらえ、自らのキャリアデザインを具体的に描いてみてください。



新しい社会科学？

それぞれの専門的知見を深め研究を発展させていくなかで、ジェンダーの視点から既存の社会科学のディシプリンに揺さぶりをかけ、新しい社会科学の地平を拓くことをめざしています。

履修者の声

進路を考える際、「女性の働く環境」ということをより意識して考えるようになった。

そうだったのかと気付いた。というのも、自分の中にもやっぱり差別的な感情はある程度あって、それを言い当ててもらった感じがしたからだと思う。

未知の世界を見せてもらった。もっと相手のことを知りたいと思った。

知らないうちに自分も「男とはこうあるべき」という考えを持っていたことに気付いた。

学内リンク

一橋大学には、学生生活で困ったこと、悩んでいること、就職のこと、なんでも相談できる場所があります。

学生支援センター <http://www.hit-u.ac.jp/shien/counseling/shien.html>

■学生相談室 本館1階 「いまここ」HP
<http://www.hit-u.ac.jp/soudan/counseling/index.htm>

■キャリア支援室 本館1階

■キャンパスライフ相談室 第1講義棟1階東側

セクシュアル・ハラスメントガイドライン

<http://www.hit-u.ac.jp/sekuhara/guideline.htm>

相手の望まない性的な言動やジェンダー(性別)役割を押しつけることはセクシュアル・ハラスメントになります。一橋大学はその防止と排除のための措置、また問題が生じた場合の適切な措置のためのガイドラインを定めています。

ヒューマン・セクソロジー

【全学共通／夏－火2】

村瀬幸浩

男女が互いに人権を尊重しつつ手を携えて生きる社会の実現について、性（Sexuality）の分野に引き寄せて考えます。青年期の性的教養としての性の生理、エイズ・性感染症などの性の病理を学び直すとともに、性の多様性、性の暴力など、「人権」としての性を追求します。

男女共同参画時代のキャリアデザイン

【全学共通／夏－木4】

コーディネーター：西山昭彦／オムニバス（如水会講師）

人材のダイバーシティ、男女共同参画、ワークライフバランスなど、新たな社会的トレンドの背景と具体的な実践例を学ぶ場を提供します。企業で活躍する本学卒業生、官界で男女共同参画に携わる方々、経営トップの方々によるオムニバスです。

ジェンダーと心理学

【全学共通／冬－水4】

柘植道子

社会における性別の持つ意味や問題に心理学の視点からアプローチします。心理学の理論のなかでジェンダーはどのように捉えられ、研究されているのか。ジェンダーとメンタルヘルスにはどのような関係があるのかについて学んでいきます。

◆基幹科目◆

社会学／地球市民とジェンダー

【夏－金2】

木本喜美子

ジェンダー視点を生かした社会学の実証研究に関する英語文献をとりあげ、これを読解します。労働という場におけるジェンダー・アイデンティティの生成過程についての理解を深めながら、実証研究の方法について考えます。

地球社会特論Ⅰ Critique of International Feminism

【夏－水3】

タニ・バーロウ

The course addresses problems posed by the name of “international feminism,” including, how are national traditions of feminism also international; is feminism a “Western ideology;” how do national feminisms support the imperial ambitions of states; and what > international traditions exist that raised feminist questions from specific political contexts but are not expressions of nationalism?

ジェンダー関係論／社会学

【冬－木4】

佐藤文香

ジェンダー研究の洋書講読を行います。2010年度はフェミニスト国際関係論の代表的論者のテキストを講読しつつ、その方法論的課題について考察します。

ジェンダーと社会

【社・基礎／夏－火3】

佐藤文香

ジェンダー研究の基礎概念をおさえた上で、家族・労働・性愛・暴力などのテーマごとにジェンダー視角から社会へとアプローチする方法を学んでいきます。

家族社会学

【社・発展／夏－木3】

木本喜美子

現代家族がかかえる問題を明らかにするために、家族の歴史変動過程を重視し、その把握と解析方法をめぐって理論的立場を異にする見解に検討を加えていきます。ジェンダー・アプローチが焦点となります。

ジェンダー論

【社・発展※／冬－火3】

佐藤文香

ケア・国家・軍隊・ポルノグラフィ・法など、ジェンダー関係の再編をめぐってフェミニズムの中に蓄積されてきたいくつかの争点を、理論的立場の相違として考察していきます。

労働とジェンダー

【社・発展※／冬－金3】

木本喜美子／オムニバス

現実の労働場面で起きている諸問題（転換期における企業社会の編成、若者就労問題、過労死問題、差別・人権問題、グローバリゼーション、オールタナティブな働き方、企業の社会的責任など）を、ジェンダーの視点からとりあげるオムニバス形式の講義です。

◆連携科目◆

◎	法	夏－火2	交渉文化論特殊問題第四（交渉文化特殊研究第四）	吉野 由利
○	法	夏－木4	国際人権法	村岡 啓一
○	社	夏－月2	地球市民論	関 啓子
○	社	夏－火3	社会学／現代情報社会の理論	多田 治
◎	社	夏－火4	文芸思想研究	井川ちとせ
◎	社	夏－火4	アジア思想史	坂元ひろ子
◎	社	夏－水2	平和社会論	宮地 尚子
◎	社	夏－水4	プロジェクト演習Ⅰ The Modern Girl Problem	タニ・バーロウ
○	社	夏－金4	地球社会特論Ⅲ Development and Social Change in the Global South	佐藤 裕
◎	社	冬－水2	地球社会と生命	宮地 尚子
○	社	冬－木2	社会調査Ⅰ	小林多寿子
○	社	冬－木5	社会組織分析	林 大樹
○	言社	夏－火3	欧米言語文化論（英語圏）Ⅲ	三浦 玲一
◎	言社	夏－木3	言語文化論系基礎講義	中井亜佐子
○	言社	夏－金3	美術史論Ⅰ	喜多崎 親
◎	言社	冬－金2	文献演習（英語Ⅱ）ナショナリズムとフェミニズム	齊藤みどり
○	言社	冬－金5	アジア言語文化論	星名 宏修

全学共通科目			
◎	夏－火3	英語圏研究入門（イギリス）	吉野 由利
○	夏－水2	教養ゼミ	阪西 紀子
○	夏・冬－水2	まちづくり〔夏・冬〕	林 大樹
○	夏－木1	台湾の歴史と文化	洪 郁如
◎	夏－木4	教育と経済Ⅰ	松塚ゆかり
◎	冬－火2／火3	英語Ⅲリーディングスキル	吉野 由利
○	冬－火2	現代スポーツ論	坂 なつこ
◎	冬－火3	英語圏文学Ⅵ（アメリカ）	三浦 玲一
○	冬－火4	ドイツ語圏思想	藤野 寛
◎	冬－水2	英語圏地域文化論（アメリカ）	越智 博美
○	冬－金3	造形芸術論Ⅱ	喜多崎 親

学 部

○	経・発展※	冬－月1／水1	公共経済学	竹内 幹
★	社・導入	夏－木4	社会研究入門ゼミ	佐藤 文香
○	社・導入	冬－金5	社会研究入門ゼミ	田中 拓道
◎	社・基礎	夏－月4	人文・社会の日本語Ⅰ	河野 理恵
○	社・基礎	夏－火2	スポーツ社会学の基礎	坂 なつこ
○	社・基礎	夏－水1	社会人類学総論	岡崎 彰
○	社・基礎	夏－水2	社会調査論	小林多寿子
◎	社・基礎	冬－月4	人文・社会の日本語Ⅱ	河野 理恵
○	社・基礎	冬－火3	宗教社会学Ⅰ	深澤 英隆
◎	社・基礎	冬－火4	社会と文化	井川ちとせ
○	社・基礎	冬－水2	社会学理論	多田 治
○	社・基礎	冬－木1	社会調査法Ⅱ	町村 敬志
○	社・基礎	冬－金1	市民社会論	高田 一夫
◎	社・発展	夏－月3	国際社会学Ⅰ	伊藤 るり
○	社・発展※	夏－木1	身体社会史	尾崎 正峰
○	社・発展※	冬－火2	ヨーロッパ社会史特論	阪西 紀子
★	社・発展※	冬－火3	社会文化論原典講読	洪 郁如
○	社・発展	冬－木3	国際政治社会学	佐藤 裕
★	社・発展※	冬－木3	社会調査特問	木本喜美子
○	社・発展	冬－木4	スポーツ問題の社会学	坂上 康博
○	社・発展	冬－金1	福祉社会論	高田 一夫
○	社・発展	冬－金3	比較教育学	関 啓子
○	社・発展	冬－金4	アメリカの社会と文化	鈴木 茂

<講義におけるジェンダー関連の問題を取り上げる目安>
★：講義全体をジェンダーの視点から構成する
◎：ジェンダーを講義の一つの柱とする
○：ジェンダーについて1、2回取り上げる

※は学部・大学院共修。
委細は各授業のオリエンテーションで確認してください。また履修登録の際には、学習計画ガイドブック（学部）／学生便覧講義要項（大学院）に従って下さい。